

# 西三河リーグ (4種) 開催要項

2019/2/19

主 旨

4種年代の多くのプレイヤーが年間を通じて、地区を基盤とした生活圏内において年代に適したプレー機会を提供される様、「Players First」を念頭にゲーム環境の整備に努め、選手と大人が共に成長しよう。

西三河地区  
4種委員会

主 催

西三河地区4種委員会

期 間

2019年4月～翌年1月 (前期4月～(8月)10月、後期10月～1月末日)

U-12 前期 2019年4月6日～9月30日 後期 無し

U-11 前期 2019年4月6日～9月16日 後期 2019年10月5日～2020年1月31日

U-10 前期 2019年4月6日～8月18日 後期 2019年9月21日～2020年1月31日



資 格

- (公財)日本サッカー協会4種登録された西三河のチームとそのチームより個人登録された選手であること。
- U-12以下の登録選手で構成されたチームとする。
  - 登録人数最低 8名以上/チーム
  - 選手のカテゴリー重複登録は、上位カテゴリーのみ認める(カテゴリー:年齢別リーグを称す) 但し、2歳上のカテゴリーまでとする。
- リーグ自主運営に協力できるチームとする。
- 西三河地区リーグ運営参加費(2,000円/チーム/年)をリーグ監督会議で納付されたチームとする。
- 開催中最低、半期で半日(3試合分)1回の試合会場が提供できるチームとする。(会場提供については、他チームで提供できる会場を借用、共同も可とする。)
- リーグ指導者講習会に参加できるチームとする。(指導者1名/県内地区問わず参加可能) 《C級指導者は5ポイント取得できます。1回/年のみ》

目 的

- 登録全選手の試合出場機会を増やし、チームの底上げを図る。
- 年間リーグをやり込み、リーグ参加選手のテクニック(技術、判断)を向上させる。
- 審判技術向上・育成 8人制1人審判に向け経験を積む場とする。

開催方法

- 日本サッカー協会「2018/19競技規則」「8人制サッカー競技規則」を基本とする。
- 試合形式は8人制を採用し試合を行う。
- 各ブロック/6～10チーム前後に分けて、ブロック内チーム総当りのリーグ戦とする。(U12、U11リーグ1部は9チーム2ブロック)
- 協会登録団体・クラブからの複数チームの参加を認める。
- 各ブロック毎に期限内に試合を終了したリーグ戦上位チームが上位大会出場代表決戦に出場出来る。  
※ 上位大会出場西三河代表決定戦の開催  
県4種委員会主催の県大会の出場チームを、リーグ戦成績の各ブロック上位チームで西三河地区代表決定戦により決定する。  
※新人戦(U-11)、全少(U-12)に関して、その年からの新規参加クラブを除き、前年度のリーグ戦(新人戦U-11ならU-10のリーグ戦、全少U-12ならU-11のリーグ戦)に不参加のチームは、西三河代表決定戦へ参加できない。(下位チームの繰上りとなります)

[前期リーグ]	・後期リーグのブロック決め		
各リーグ	大会名称	開催予定	西三河代表チーム数
U-10リーグ	⇒サークル杯本大会出場権決定戦	9月下旬	代表 3 チーム
U-11リーグ	⇒新人戦県大会出場権決定戦	11月初旬	代表 8 チーム
U-12リーグ	⇒全日県大会出場権決定戦	10月中～下旬	代表 15 チーム
県U12リーグ	U-12県リーグ	4月～10月末	代表 4 チーム

U-10前期…1巡 後期1巡  
U-11前期…6～10試合 後期 6～10試合  
U-12前期…16試合以上

※ 県U-12リーグ選出はU-11後期リーグの1部AブロックBブロック上位2チームの計4チームとする。

エントリー

- 西三河地区リーグエントリー表を期日(2019年3月26日(火)までに、下記カテゴリー担当者へ提出する。  
U-12 伊藤 保 tamotsu316@jp.bigplanet.com  
U-11 小川 祐二 yarukish@katch.ne.jp  
U-10 伊藤 収 o\_itou@yahoo.co.jp
- リーグ戦開催期間中のリーグ参加チームからの移籍や、クラブ内のA,B入替えなどによる選手入替えは認めない。但し、引越しなど、止むをえない理由の場合認めることがある。  
また、新規登録者は選手証のコピーと新しいエントリー表をリーグ担当者へ送り、承認後、リーグ戦に参加できる。
- エントリー表の監督・コーチと帯同審判の重複は認める。
- 大会参加者は必ずスポーツ安全保険等に加入しておく事。

ブロック編成のチーム選出

- 登録クラブより同カテゴリーに2チーム以上のエントリー時は実力上位よりABC…をチーム名の末尾に記載する。同一クラブのチームが同一ブロックに入ることはない。
- U-12/U-11カテゴリーは2部または3部構成とし、U-10は抽選でブロック分けしたリーグ構成とする。
- U-12/U-11カテゴリーへの新規参加チームは最下部からの参加とする。
- U-11リーグは前後期の節目に入れ替えを行う。(A,B同ブロックで各2チームの昇格と降格)
- U-11 は後期リーグ、U-10は通年の成績を次年度のリーグのブロック分けの参考とする

## 試合運営

1. エントリー表を毎試合開始30分前に先発メンバーを記載し本部へ1部提出する。  
試合開始前に選手証を提示し、チェックを受け、許可された選手のみ出場できる。
2. エントリー表記載の選手登録番号と選手証の番号違いは、その選手の出場を認めない。  
漢字の違いも同様とする。
3. 累積警告2回で次節1試合出場停止。退場処分1回で次節の試合を出場停止とする。  
警告や退場が発生した場合は、審判員が審判報告書を会場で記入し、会場担当者へ提出する。  
退場者が出た場合は、会場担当者はその日の内にブロック長、リーグ担当者に送付する。
4. 試合球は、4号球とし各チームで持参する。
5. 審判登録証・REFEREES' DIARYを確認する。

## 試合時間

1. 全カテゴリー、20分-10分-20分の前後半とし、主審の判断でアディショナルタイムを採用できる。  
※ハーフタイムが10分を超えない。(冬季・春季・秋季は5分へ短縮も可)
2. WBGT値28℃以上の日にはハーフタイムを10分とし、クーリングブレイク(別紙参照)を採用する。

## 順位の決定

1. 順位決定は 1:勝点 2:得失点 3:総得点 4:相互成績 5:コイントスとする。  
勝点は勝ち3点、引分け1点、負け0点とする。引分け時のPK戦は採用しない。

## 交代

1. 自由な交代。(交代ゾーンで交代できる)
2. GKはアウトオブプレーの時に主審の承認を得て交代できる。

## ベンチ

1. ベンチは組合せ表の上(左)のチームが、ベンチよりピッチを見て左側を基本とする。
2. ベンチには監督1名、コーチ2名、エントリー選手のみ入ることができる。(控え選手は識別色着用)
3. 監督やコーチは審判や選手と識別色の服装でのベンチ入りを許可する。(主審に権限を委ねる)
4. サッカー指導者や選手にふさわしくない服装ではベンチ入りできない。(作業服、サンダル履き等)
5. テクニカルエリアではその都度ただ1人の監督かコーチのみが戦術的指示を伝えることができる。
6. 応援者による審判、相手チームへの批判、不服暴言は会場担当で退席処分ができる。  
退席処分者が出た場合は、会場担当者が試合結果報告書にて、ブロック長とリーグ担当者に詳細に報告する。

## 審判

1. 1人審判制(主審1名 補助審1名の2名で実施する)
2. 有資格者であり、原則黒色の審判服を着用する。左胸に審判ワッペンを付ける。  
左肩にフェアプレーワッペンを付けることが望ましい。
3. チーム責任者が推薦し、10試合以上REFEREES' DIARYに記録してある経験者で有ること。
4. ハーフタイム及び終了後審判全員で反省ミーティングを実施し、審判のレベル向上に励む。
5. 安全ピンなど金属類でのワッペン固定は認めない(ケース入りOK)
6. 天候によりアンダーシャツ、スパッツの黒色着用も許可する。
7. 冬場の補助審は審判服の上に選手と識別色のジャージ着用を許可する。(原則黒で類似の色なら可)
8. 審判員の遅刻、帯同審判員不足等が発生した時、会場担当者で対応する。  
その場合、審判放棄扱いと判断され、チームは規律委員会に諮られ、処罰される場合がある。  
場合によっては、次回試合以降参戦禁止・その後の公式戦も参加出来ない事がある。
9. 審判服は2名が同系色(原則黒色)とする。2名の色が同系色で統一されていればその限りで無い。
10. 競技規則に記された審判員を望む。  
例) 貴金属装飾品やメガネの着用禁止。笛・腕時計・鉛筆各2個着用。両手を自由に使用できることが望ましい。

## 没収試合

1. 試合開始に選手が[6]名未満は開始できない。棄権試合とし、『10対0の負』ブロック最下位とする。
2. 一方のチームが6人に満たなくなった場合は、試合を再開できないので、棄権試合とする。
3. 無断、無届・当日不足での棄権試合は、規律委員会にて処分を決定する。  
次回試合以降参戦禁止・その後の公式戦も参加出来ない事がある。

## ユニホーム

1. 競技規則に準ずることとする。
2. チーム登録ユニホーム 正・副2着4色を準備し背、胸に番号を付ける。
3. アンダーシャツ、スパッツなどの着用はユニホームと同系色のみ許可するが、チーム全員が同色でなくてはならない。
4. スtockingの色を統一する。(ラインの違いは許可されない)
5. ユニホームの色と選手番号はチーム内で統一すること。  
例: GK登録/黄(明るい)控え選手/黄(線あり)等は認めない
6. ユニホームの黒色は禁止、紺色は避け審判員との誤認防止を図る。
7. キーパーは、色が重なった場合、ビブス可とする。また、フィールド用ユニフォームにビブス着用も可とする。
8. パンツの番号の有無は問わないが統一し、ユニホームの番号と合わせる。

## ピッチサイズ

8人制用

コートサイズ 48mx68m 目安



## ブロック自主運営方法

1. 「ブロック長」を決め、ブロック長を中心に全チームで運営する。
2. ブロック長を中心にリーグ戦日程・会場・組合せ等、全て自主運営する。
3. 試合会場はブロック内チームで提供し合い運営する。(会場費が必要な場合は各ブロックで決める)
4. ブロック内連絡等はブロック長を中心に進め、リーグ担当者、リーグ責任者もCCに入れる。
5. 各ブロックで会場・チーム事情での日程変更等はブロック内で協議して決める。
6. 試合計画立案後の変更依頼は、代替計画を持って該当チームの了承を得た場合のみ認める。
7. 各会場管理チームがブロック長・リーグ担当者、リーグ責任者に連絡する。
8. 試合後は各会場管理チームがブロック長、リーグ担当者、リーグ責任者に結果報告書で2日以内に報告する。
9. ブロック長は会場提供があったら最低3チームを決め試合を行う。  
(原則ブロック長に指定されたチームは変更は認めない。)
10. 学校行事等(チーム内同学校 3名以上)は事前に日程調整表にてブロック長に報告しておく。
11. リーグ公式戦は連続する2日間で 2試合/チームまでとする。
12. 会場や試合で問題が発生した場合は、リーグ担当者に即時連絡を入れ対応方法を仰ぐ。  
その際、結果報告書にも詳細に記入し提出する。
13. 期限内に全試合消化ができないチームは、自主運営に協力ができないとみなし、翌年以降のリーグ参加をお断りすることがあります。

推奨目安

U-10・・・第3土日

U-11・・・第2土日

U-12・・・第1土日

リーグ責任者メールアドレス nishimikawa.jrleague@gmail.com